

2021年の北陸地方の天候経過

—北陸地方の天候の特徴と気象トピックス—

- ◆ 冬(2020年12月～2021年2月)は、多雪。2月はかなりの高温、かなりの多照。
- ◆ 春(3～5月)は、高温、多照。5月はかなりの寡照。
- ◆ 夏(6～8月)は、梅雨の期間は短く、高温・多照。
- ◆ 秋(9～11月)は、かなりの多照・高温。
- ◆ 12月は、下旬を中心に強い寒気が流れ込み、多雪。
- ◆ 1月7日から11日にかけては、新潟県高田で72時間降雪量が187センチに達したのをはじめ、各地で記録を更新するなど大雪となり、多数の車両の立ち往生など大規模な交通障害が発生した。
- ◆ 3月で、寒気の南下が顕著に弱かったことや、梅雨前線および秋雨前線の影響が小さかったなどから、年間を通した日照時間はかなり多く、気温が高い状態になることが多かった。

※北陸地方平均とは、北陸地方にある気象官署及び特別地域気象観測所(9地点)ごとの平年差(比)を平均したものです。

冬(2020年12月～2021年2月)

冬の天候は、前半に強い寒気が流れ込んだ影響で、曇りや雪または雨の日が多く記録的な大雪となった所もあり、冬の降水量はかなり多く、降雪量は多かった。後半は寒気の南下は一時的で、高気圧に覆われて晴れた日が多くなり、冬の日照時間は多かった。

※先の冬のまとめより新平年値(1991～2020年)による再統計をしています

3か月平均(合計)と月別の平均気温・降水量・日照時間・降雪量の平年差(比)と階級				
北陸地方平均	12～2月	12月	1月	2月
平均気温平年差 階級	+0.3℃ 平年並	-0.1℃ 平年並	-0.5℃ 低い	+1.7℃ かなり高い
降水量平年比 階級	124% かなり多い	119% 多い	136% かなり多い	112% 平年並
日照時間平年比 階級	110% 多い	87% 平年並	105% 平年並	135% かなり多い
降雪量平年比 階級	141% 多い	130% 多い	188% 多い	83% 平年並

春(3月～5月)

3月と4月は、移動性の高気圧に覆われて晴れた日が多くなり、4月は日照時間がかなり多くなったが、5月は低気圧や、中旬を中心に本州付近に停滞した活動が活発な前線の影響で、曇りや雨の日が多くなり、日照時間がかなり少なくなった。また、今春の前半は北からの寒気の流入が顕著に弱く、南からの暖かい空気に覆われやすかったため、3月では気温がかなり高くなった。

3か月平均(合計)と月別の平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級				
北陸地方平均	3～5月	3月	4月	5月
平均気温平年差 階級	+0.8℃ 高い	+2.4℃ かなり高い	-0.1℃ 平年並	+0.1℃ 平年並
降水量平年比 階級	112% 多い	75% 少ない	121% 平年並	151% 多い
日照時間平年比 階級	106% 多い	116% 多い	127% かなり多い	82% かなり少ない

夏(6月～8月)

太平洋高気圧の張り出しが例年より弱かったため、6月は梅雨前線が日本の南海上に停滞しやすかったうえ、7月中旬に梅雨前線が不明瞭となった。このため、高気圧に覆われやすく、6月、7月は晴れの日が多くなった。8月は日本の南海上では熱帯低気圧が発生しやすく、上旬の終わりから、台風から変わった低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多くなった。

梅雨入りは、「6月13日ごろ（平年並）」、梅雨明けは「7月14日ごろ（平年より早い）」となった。

3か月平均(合計)と月別の平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級				
北陸地方平均	6～8月	6月	7月	8月
平均気温平年差 階級	+0.6℃ 高い	+0.7℃ 高い	+1.1℃ 高い	-0.1℃ 平年並
降水量平年比 階級	109% 平年並	76% 平年並	96% 平年並	152% 多い
日照時間平年比 階級	109% 多い	119% 多い	137% かなり多い	82% 少ない

秋(9月～11月)

秋雨前線の活動は弱く、台風の影響も小さく、高気圧に覆われて晴れた日が多くなったため、日照時間はかなり多く、気温は高くなった。

3か月平均(合計)と月別の平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級				
北陸地方平均	9～11月	9月	10月	11月
平均気温平年差 階級	+0.5℃ 高い	+0.1℃ 平年並	+0.8℃ 高い	+0.6℃ 高い
降水量平年比 階級	96% 平年並	80% 平年並	85% 平年並	121% 多い
日照時間平年比 階級	115% かなり多い	106% 平年並	115% 多い	131% かなり多い

12月

上旬から中旬は北極からの寒気の南下が弱かったが、下旬は強い寒気が流れ込んで気温は平年より低くなり、大雪となった所もあった。このため、月降雪量は多く、月降水量も多かった。

年

2021年は、年間を通して気温の高い状態が続き、低温は一時的だったため、年平均気温（2021年1月～12月）は高かった。1月前半は強い寒気が南下し、低温となり大雪による交通障害が発生したが、1月下旬以降は4月上旬にかけて寒気の南下が弱く、特に3月は寒気の南下が顕著に弱く記録的な高温となった。6月で太平洋高気圧の北への張り出しが例年より弱く、7月中旬から太平洋高気圧が北日本付近に張り出したため、北陸地方の梅雨入りは平年並みとなったが、梅雨明けは平年より早くなり、梅雨期間は短かった。8月中旬から9月上旬にかけて太平洋高気圧が弱まり、前線が顕在化し本州付近に停滞、大雨となった所もあった。10月前半は寒気の南下が弱く、顕著な高温となったが、10月後半では寒気の影響を受けることが多くなり、気温の変化が大きかった。

北陸地方の年の平均気温は平年より高く、降水量は多く、日照時間はかなり多くなった。

表 1 2021年の北陸地方の年統計値

	年平均気温		年降水量		年間日照時間	
	実況(°C)	平年差(°C)	実況(mm)	平年比(%)	実況(h)	平年比(%)
新潟	14.5	+0.6	1952.0	106	1826.8	111
相川	14.8	+0.7	1741.0	111	1848.2	114
高田	14.3	+0.4	3156.0]	X	1783.2	112
富山	15.1	+0.6	2609.5	110	1760.2	107
伏木	14.7	+0.5	2659.0	117	1809.4	110
金沢	15.7	+0.7	2690.0	112	1888.8	110
輪島	14.3	+0.5	2094.0	97	1722.6	109
福井	15.4	+0.6	2858.0	124	1829	111
敦賀	16.2	+0.6	2454.5	112	1777.4	111
北陸平均		+0.6		111		111

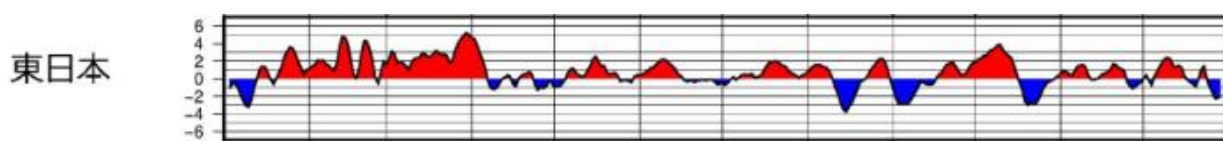


図 1 東日本の平均気温平年差(5日移動平均 単位°C)

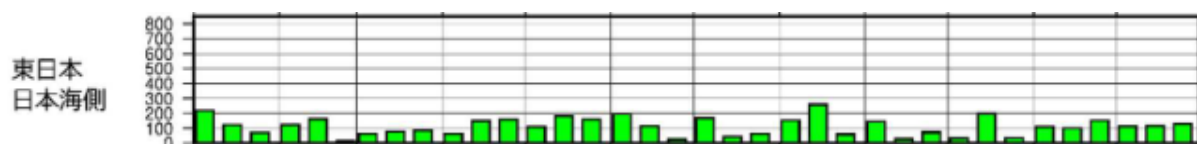


図 2 北陸地方(東日本日本海側)の降水量平年比(旬別 単位%)

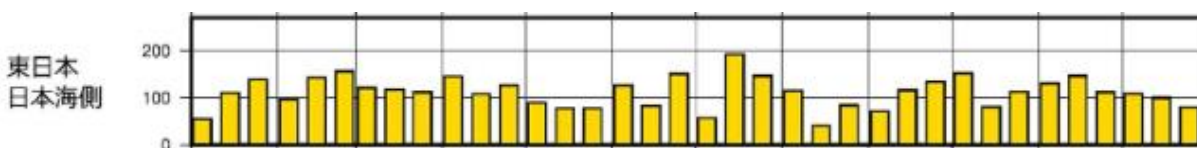


図 3 北陸地方(東日本日本海側)の日照時間平年比(旬別 単位%)

表 2 2021年の年別で順位を更新した記録(3位以内)

◎年の平均気温の高い方からの順位更新

年	順位	官署	実況値 °C	平年差 °C	これまでの最高(西暦年) °C	統計開始	平年値 °C
2021	2	相川	14.8=	+0.7	15.0(2020)	1911	14.1
	3	輪島	14.3=	+0.5	14.6(2020)	1929	13.8

注) =はタイ記録を示す。

表3 2021年の季節(3か月)別で順位を更新した記録(3位以内)

◎3か月間の日照時間(多い方から)の順位更新

年	月	順位	官署	実況値 h	平年比 %	これまでの最高(西暦) h	統計開始	平年値 h
2021	12-2	2	敦賀	292.3	135	293.8(1916)	1914	216.5
	9-11	1	福井	501.7	119	501.4(1914)	1898	419.9
		2	富山	454.1	115	470.7(2014)	1939	394.0
			伏木	458.0	115	477.4(2014)	1893	398.2
		3	金沢	484.0	117	494.2(2014)	1891	414.2

表4 2021年の月別で順位を更新した記録(3位以内)

◎月平均気温高い方からの順位更新

年	月	順位	官署	実況値 ℃	平年差 ℃	これまでの最高(西暦) ℃	統計開始	平年値 ℃
2021	2	1	金沢	6.6	+2.4	6.3(2020)	1882	4.2
		2	相川	5.6	+1.6	5.9(2020)	1912	4.0
		3	輪島	5.1	+1.7	5.4(1990)	1930	3.4
			敦賀	7.2	+2.1	7.5(1990)	1898	5.1
	3	1	新潟	8.5	+2.3	7.9(2020)	1882	6.2
			高田	8.1	+2.3	7.8(2020)	1922	5.8
			相川	8.7	+2.2	8.1(2020)	1912	6.5
			富山	9.6	+2.7	8.7(2018)	1939	6.9
			伏木	9.0	+2.4	8.3(2020)	1884	6.6
			金沢	9.7	+2.4	9.0(2020)	1882	7.3
			輪島	8.0	+1.9	7.6(2020)	1930	6.1
			福井	9.8	+2.6	8.8(2020)	1897	7.2
	敦賀	10.7	+2.4	10.1(2018)	1898	8.3		
	10	3	敦賀	19.3	+1.2	19.7(1998)	1897	18.1
	11	3	相川	12.9	+1.1	13.7(2004)	1911	11.8

◎月降水量多い方からの順位更新

年	月	順位	官署	実況値 mm	平年比 %	これまでの最高(西暦) mm	統計開始	平年値 mm
2021	8	1	福井	341.0	226	340.5(2014)	1897	150.7

◎月降水量少ない方から

年	月	順位	官署	実況値 mm	平年比 %	これまでの最高（西暦） mm	統計開始	平年値 mm
2021	3	3	高田	96.5	50	88.5(1986)	1922	194.7
			伏木	72.0	48	67.0(2016)	1884	150.6

◎月間日照時間多い方から

年	月	順位	官署	実況値 h	平年比 %	これまでの最高（西暦） h	統計開始	平年値 h
2021	2	1	敦賀	129.6	160	129.0(1960)	1914	81.2
		3	金沢	113.0	131	130.2(2007)	1891	86.5
	4	2	富山	226.7	131	232.4(2014)	1939	173.6
			福井	229.7	133	230.8(1942)	1898	172.3
	10	2	福井	202.8	131	215.9(1977)	1898	154.4
	11	1	富山	138.4	132	137.4(1954)	1939	105.1
			高田	138.9	133	143.2(1941)	1922	104.1
			金沢	143.0	132	145.2(1909)	1891	108.6
			伏木	137.7	132	141.3(1954)	1893	104.6

注1：平年値としては、1991～2020年の30年平均値を使用しています。

注2：本文中の平年差・比は、北陸地方の気象官署・特別地域気象観測所平均(9地点)の値です。なお、北陸平均の統計開始は1946年です。

注3：値の横に「) や 」がある場合には使用したデータに欠測等が含まれていることを示し、×は欠測を示します。

) 付きの値は正常の値とみなせますが、) 付きの値は欠測等が多いため正常な値と同等とはみなせません。

このため、統計日数（統計に用いた品質が十分な日数）を気象台等に確認して、品質を確かめてください。